

都市ガスの原料のLNG及び国産天然ガス価格は、原油価格や為替レートといった外部要因の動きにより変動します。原料費調整制度はこうした原料価格の変動に応じてガス料金を調整する制度です。

原料価格の変動をガス料金へ反映する仕組みについて

基準となる原料価格（基準平均原料価格）と貿易統計に基づく3ヶ月の平均原料価格との差額から、次の算式によって単位料金調整額を算出いたします。

$$\text{単位料金調整額(円/㎡)} = [\text{平均原料価格(円/トン)} - \text{基準平均原料価格(円/トン)}] \div 100 \times 0.069 \times (1 + \text{消費税率})$$

[平均原料価格(円/トン) - 基準平均原料価格(円/トン)]は、100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額。

従量料金単価調整額（税込）は、プラス調整時は小数点第3位の端数を切り捨てた小数点第2位までの金額。

マイナス調整時は小数点第3位の端数を切り上げた小数点第2位までの金額。

基準平均原料価格（トン当たり）

34,420円

平均原料価格（トン当たり）

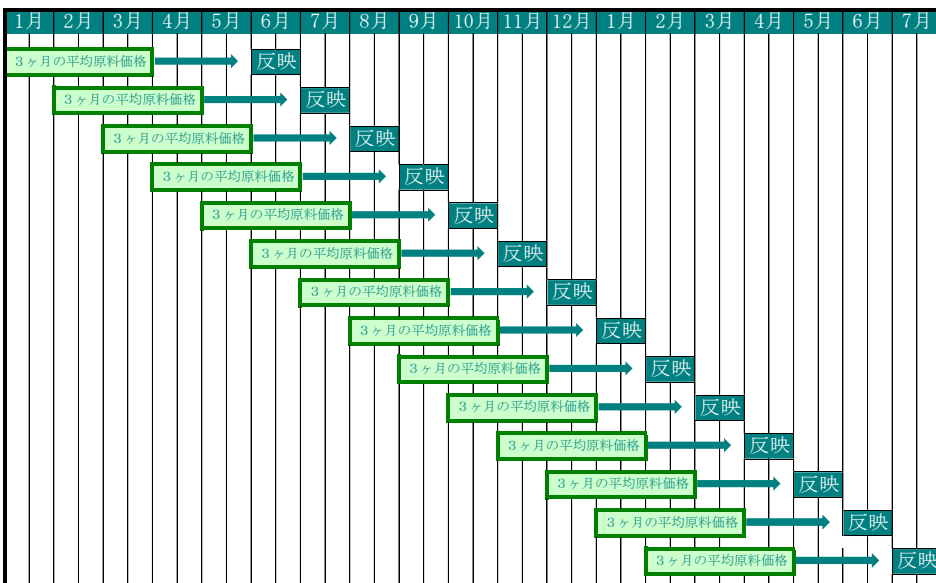
各3ヶ月間における貿易統計値の数量および価格から算定したトン当たりLNG平均価格（算定結果の100円未満の端数を四捨五入し100円単位といたします。）をもとに次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を四捨五入した金額といたします。

$$\text{平均原料価格} = \text{トン当たりLNG平均価格} \times 1.0300$$

原料費調整の実施時期と原料価格のガス料金への反映時期について

原料費調整制度に基づき、毎月ガス料金を調整いたします。各期間（3ヶ月）の平均原料価格がガス料金へ反映される時期は下記の通りとなります。

平均原料価格算定期間	ガス料金(単位料金)への反映時期
前年8月から10月	1月検針分
前年9月から11月	2月検針分
前年10月から12月	3月検針分
前年11月から当年1月	4月検針分
前年12月から当年2月	5月検針分
当年1月から3月	6月検針分
当年2月から4月	7月検針分
当年3月から5月	8月検針分
当年4月から6月	9月検針分
当年5月から7月	10月検針分
当年6月から8月	11月検針分
当年7月から9月	12月検針分



各検針月に適用するガス料金の平均原料価格について

詳細につきましては、毎月当社ホームページに掲載するとともに、各支店窓口に掲示いたします。